



日本 世界 地域 匠  
デザイン 伝統 革新 発見  
経済 持続 もてなし 協働

新価値提案で日本の地域産業の活性化を目指す

## 地域に貢献する「3・9プロジェクト」活動開始

ポーラ・オルビスグループの株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：鈴木郷史）は、企業活動を通じ、日本が誇るものづくりの真髄を社会に向けて提案し地域産業の活性化に貢献することを目的に、創業 80 周年を迎える今年、「3・9 プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトの理念に基づきポーラと地域の生産者が力を合わせて作り上げた「日本のよいもの」をお届けします。

「3・9 プロジェクト」は、日本各地のお客さまがポーラの活動を暖かく受け入れ、育てていただいたという地域への感謝の気持ちと、ポーラ伝統文化振興財団を通じて、30年にわたり地域の伝統工芸や芸能を保存振興する活動を続けてきた実績を活かして、地域にある優れた「ものづくり」の伝統に、ポーラが新しい価値を吹き込むことで、地域社会に貢献できるという思いから生まれました。

また、そのことが地域社会の活性化につながれば、やがて再びポーラを支援してくださるお客さまを増やすことになり、ともに発展することができると考えています。

現在、<sup>つばめ</sup>燕市、<sup>いまばり</sup>佐渡市、今治市とのコラボレーションが既の実現しています。

### 「3・9 プロジェクト」理念 3つの対象と9つの志

【対象1】

日本

日本の各<sup>地域</sup>に伝承されている<sup>匠</sup>の美しさに、新しい価値を付加して<sup>世界</sup>に向けて提案する。

【対象2】

デザイン

<sup>伝統</sup>の技や造形美を<sup>革新的</sup>なデザインに昇華させることで、使うたびに見るたびに<sup>発見</sup>の喜びがお客さまに訪れるような商品づくりにつとめる。

【対象3】

経済

地域産業との<sup>持続性</sup>と<sup>もてなし</sup>の心ある<sup>協働</sup>により、地域経済の活性化に貢献していく

日本のよいものを未来までお届けしたい。  
それが、ポーラの「3・9（サンキュー）」プロジェクトです。

※商品詳細は [www.pola.co.jp/39pj](http://www.pola.co.jp/39pj)

#### 現在の対象アイテム

（今後もアイテムを追加する計画）

新潟県燕市の伝統工芸「<sup>ついきどうき</sup>鎚起銅器」  
世界に誇る新潟県<sup>つばめ</sup>燕市の JAPAN ブランド「<sup>エン</sup>enn」とポーラのコラボレーションで製作したファッション雑貨。



佐渡の海洋深層水  
POLA DEEP SEA WATER  
diet support



今治タオル  
今治市の基準をクリアした、オーガニック・ジェントルタオル

ポーラ・オルビスグループは、「世界中の人々に笑顔と感動をお届けしたい」を理念に化粧品会社7社をはじめとする25社で構成される企業グループです。